

# News Release

## News Release

2014年11月4日

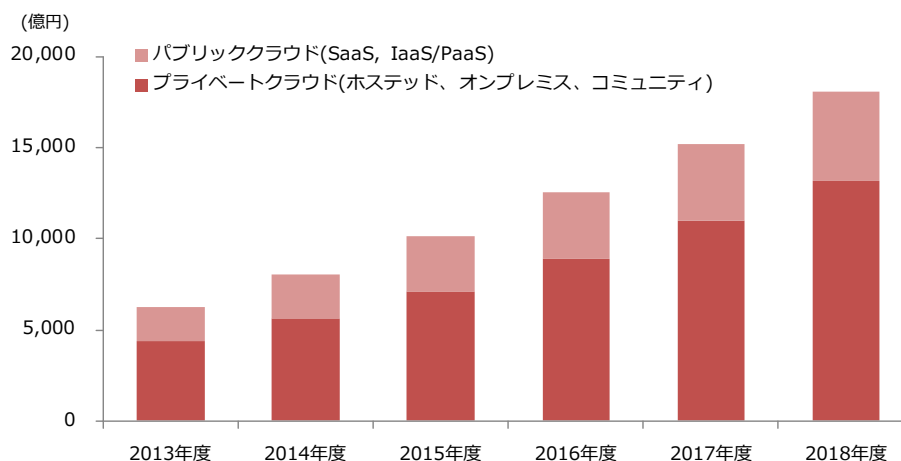
報道関係者各位

株式会社MM総研

### 8割が新規システム構築時にクラウドを検討、 国内クラウド市場は2015年度に1兆円へ成長

- 2013年度の国内クラウド市場は6,257億円、2015年度に1兆円を超える
- 8割の企業が新規システムの構築時にクラウドを検討、クラウドファーストの浸透が顕著に
- セキュリティに対する不安やクラウドの移行・運用コストが利用障壁に
- パブリッククラウドではAmazon、プライベートクラウドではNTTコムが利用・検討1位

MM総研(東京都港区、所長・中島 洋)は11月4日、国内クラウドサービスの市場規模・予測と需要動向に関して、クラウドサービスの導入済および検討中の法人計1,259社を対象に調査を実施した結果を発表した。急成長を続けるクラウド市場は前年度比22.6%増加し2013年度6,257億円へ成長した。企業の新規システム構築におけるクラウドの検討が8割へと進み、「クラウドファースト」の浸透が明らかになった。クラウド市場は2015年度には1兆円を超える見込みで、2018年度は2013年度比2.9倍の1兆8,000億円規模まで拡大すると予測する。



＜図1：国内クラウドサービス市場規模 実績・予測＞

一方、ユーザーにとっては、セキュリティに対する不安やクラウドにかかるコスト、運用面での難しさがクラウドの利用障壁になっていることも明らかになり、クラウド提供事業者やシステム構築事業者は、クラウドへの移行や運用業務を効率化するための支援サービスなどの充実が求められている。

また、クラウドサービス提供事業者間の競争は激しさを増し、著しい速度で低価格化と機能の進化が同時に起きている。データセンターへの投資を含め、スケールメリットを活かしたグローバルベンダーの存在感が増してきており、追随する国内ベンダーは価格や機能、利便性などの面で一層の差別化が必至となっている。

#### ■ 国内クラウド市場は2015年度に1兆円を超える

2013年度におけるクラウド市場全体は前年度比22.6%増の6,257億円となった。2018年度までの年平均成長率は23.6%で、2015年度には1兆円を超え、2018年度には2013年度比2.9倍の1兆8,081億円に達すると予測する。

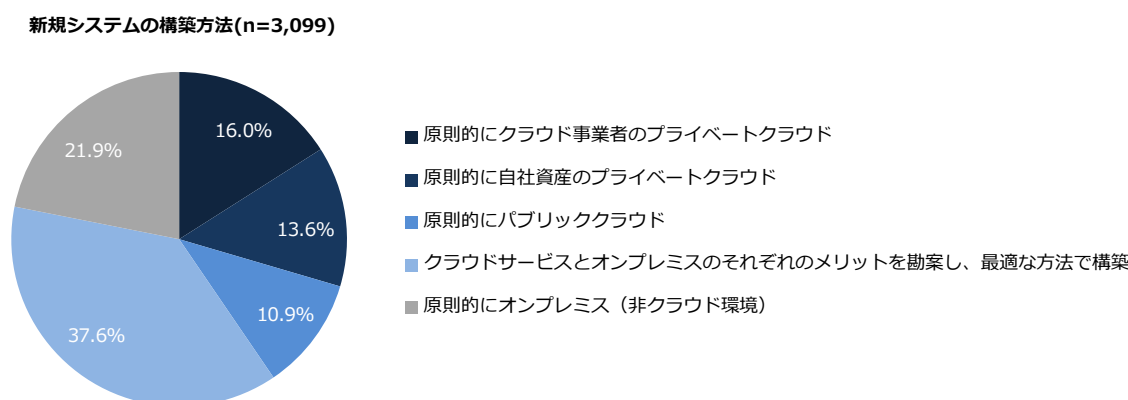
パブリッククラウド(SaaS および IaaS/PaaS)は 2013 年度 1,869 億円で前年度比 34.2%増となった。IaaS/PaaS の急成長を背景に、パブリッククラウドは 2018 年度まで年平均 21.2%で成長し、2013 年度比 2.6 倍の 4,882 億円に達すると予測する。

プライベートクラウド(ホステッド、オンプレミスおよびコミュニティ)は 2013 年度 4,388 億円で前年度比 18.3%増となった。2013 年度～2018 年度までの年平均成長率は 24.6%で推移し、コミュニティクラウドやホステッド・プライベートクラウドの拡大により 2017 年度に 1 兆円を超え、2018 年度には 2013 年度比 3.0 倍の 1 兆 3,199 億円になると予測する。クラウド市場におけるプライベートクラウドの比率は 2013 年度 70.1%を占めるが、2018 年度には 73.0%と緩やかにシェアを高め、引き続きクラウド市場を牽引する傾向が見られる。

## ■ 8 割の企業が新規システムの構築時にクラウドを検討、クラウドファーストの浸透が顕著に

クラウドサービスの急成長の背景には、国内の法人ユーザーの意識の変化がある。新規システム構築時にクラウドの活用を検討する法人ユーザーは、2013 年調査時の 69.1%から 78.1%へ 9 ポイント増加し、「クラウドファースト」が浸透してきていることが鮮明になった。

原則的にプライベートクラウドやパブリッククラウドを利用する割合は 40.5% (2013 年調査時 35.0%)、クラウドを検討に入れる割合は 37.6%(同 34.1%)となった。今後は、非クラウド環境のオンプレミス型についてもクラウドのメリットを積極的に勘案してクラウド側へシステムを移行していく企業が増加すると推測される。



<図 2: 新規システムの構築方法>

## ■ セキュリティに対する不安や運用コストなどがクラウドの利用障壁に

パブリッククラウド(SaaS および IaaS/PaaS)を利用しない企業の理由は「情報漏えいなどのセキュリティが心配」が最も多く 3 割を超え、セキュリティへの不安が利用障壁となっていることが分かった。次いで「運用コストが高くなってしまふ」、「既存システムとの一体的な運用が難しい」と続き、運用面の不安が上位を占めた。既存システムとの連携など、情報システム基盤として本格的な活用を検討するユーザーが増える中、クラウドの運用効率化が課題になっている。

クラウドサービスの利用障壁 —クラウドを検討したが利用しなかった理由 TOP5 (複数回答)

パブリッククラウド (IaaS/PaaS) n=225		ホステッド・プライベートクラウド n=228			
1	情報漏えいなどのセキュリティが心配	36.9%	1	運用コストが高くなってしまふ	27.6%
2	運用コストが高くなってしまふ	20.4%	2	クラウドへの移行コストが高い	21.5%
3	既存システムとの一体的な運用が難しい	19.1%	3	システムの信頼性や可用性に疑問がある	14.9%
4	システムの構築・運用ノウハウがない	14.7%	3	システムの構築・運用する要員が不足	14.9%
5	システムの構築・運用する要員が不足	12.9%	3	システムの構築・運用ノウハウがない	14.9%

<図 3: クラウドサービスの利用障壁>

## ■ IaaS/PaaS では 3 社に 1 社が Amazon を利用・検討、プライベートクラウドは NTT コムが最多

パブリッククラウドの IaaS/PaaS を利用・検討している法人ユーザー (n=701) が選ぶサービスは「Amazon Web Services」が 33.7%と最も多く、概ね 3 社に 1 社に上ることが明らかになった。ホステッド・プライベートクラウド (n=695) では「Biz ホスティング Enterprise Cloud」(NTT コミュニケーションズ) が 19.0%と最も多く、Amazon、NTT コミュニケーションズともに 2013 年調査時の利用・検討率を大きく上回る結果となった。また、オンプレミス・プライベートクラウドの構築サービスを利用・検討している法人ユーザー (n=659) では、ベンダーとして「IBM」(18.7%) が最も多く挙げられた。

Amazon が IaaS/PaaS で圧倒的なシェアを獲得する一方、NTT コミュニケーションズや IBM、2 位以下で名前が挙がる富士通などは安価なパブリッククラウドから高品質なプライベートクラウドの構築サービスまで幅広いラインアップを持つ強みを活かし、顧客からクラウドの各分野で支持を得ている。

この調査では、クラウド市場をパブリッククラウド (SaaS および IaaS/PaaS) とプライベートクラウド (ホステッド、オンプレミスおよびコミュニティ) に分類した。事前調査として、国内法人ユーザーを対象に Web アンケートを実施し、3,099 法人にアンケート回答を求め、その中から実際にクラウドサービスを導入済、あるいは検討している 1,259 法人を対象に調査を実施した。

同調査の概要は下記の URL で公開しています。

<http://www.m2ri.jp/newsreleases/top.php>

### < 調査概要 >

1. 調査対象 : 国内法人ユーザー※
2. 回答件数 : 予備調査 (n=3,099)、本調査 (n=1,259)  
※情報システムやネットワークの管理・運用担当者または、決裁や選定に関与する立場  
※本調査はクラウドサービスの利用・検討者を対象
3. 調査方法 : Web アンケート
4. 調査期間 : 2014 年 8 月 21 日～8 月 29 日

**調査の詳細な分析を加えたレポート「国内クラウドサービス需要動向 (2014 年版)」を発刊しています。**

※レポートの価格、内容等詳細についてはお問い合わせください。

レポートの概要はこちら⇒ [http://www.m2ri.jp/mc\\_report/](http://www.m2ri.jp/mc_report/)

## ■ 報道関係お問い合わせ先

(株)MM総研 担当 渡辺/中村/加太

所在地 : 東京都港区芝公園 2-6-3 芝公園フロントタワー

電話番号 : 03-5777-0161 ホームページ:<http://www.m2ri.jp>

## ■ 本資料の掲載について

本リリースの情報は、下記の日時以降に掲載して頂きますよう、ご協力お願い申し上げます。

新聞・雑誌 : 11 月 5 日 (水) 朝刊より

通信社、テレビ、ラジオ、Web サイト : 11 月 4 日 (火) 16 時より

## ■ 掲載時における注意事項

- \* 本リリースに関する出典表記は「MM総研」として下さい。
- \* 本ニュースリリースに掲載された資料はMM総研の取材等による調査結果及び推定に基づいて作成したものです。これらのデータは資料作成時点におけるものであり、今後予告なしに変更されることがあります。